

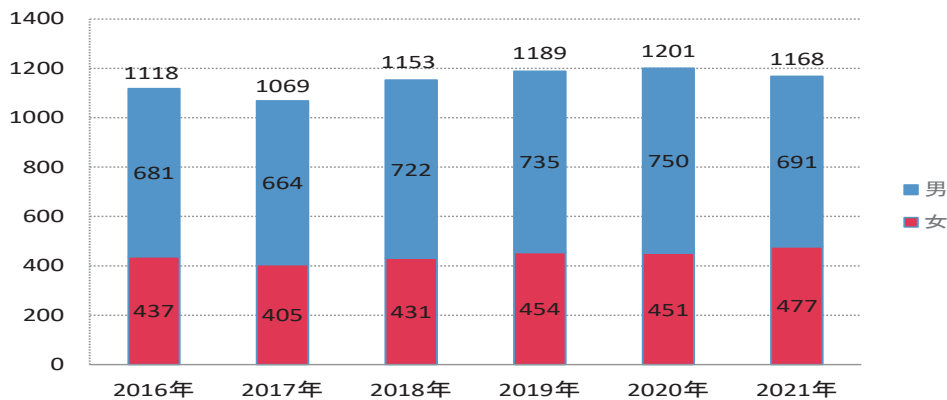
● 活動目的

1. 「院内がん登録」は、がん医療の提供を行う病院において、そのがん医療の状況を的確に把握するため、自施設を初診し、がんの診断・治療を受けた全患者についての診断結果、初回治療内容、予後情報を登録、保存することを目的として行う。
2. 登録したデータを用いて、自施設の特徴を把握したり、より良い医療の提供に繋がったりするために、がん診療に関する情報を積極的に提供する。
3. 院内がん登録の情報を、国立がん研究センター及び都道府県がん登録室に届出する。専門的ながん医療を提供する医療機関の実態把握の基礎資料、がん対策の評価に活かされる。

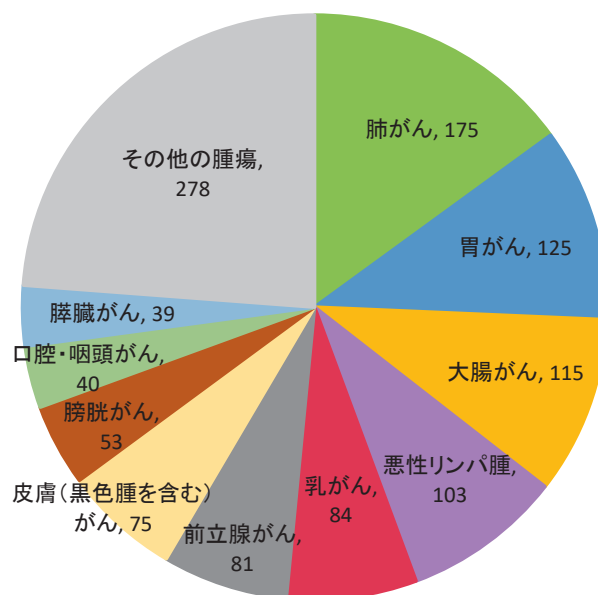
● 活動状況

1. 院内がん登録

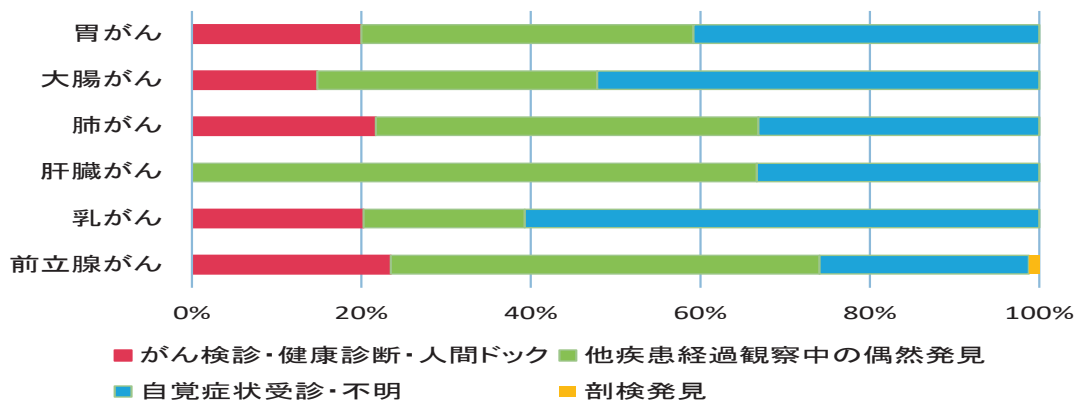
① 登録数の年次推移



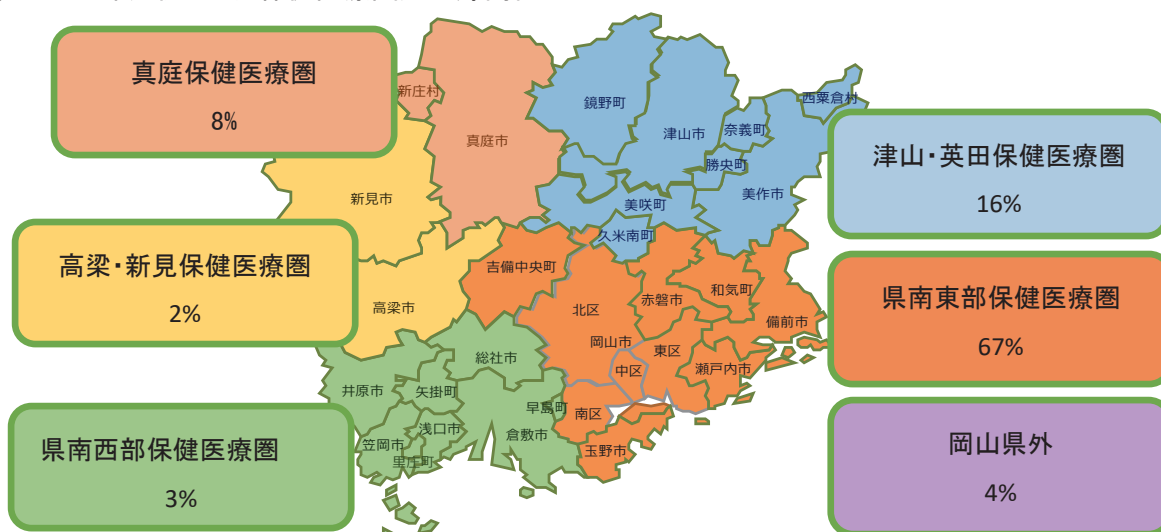
② 2021年症例 部位別登録数 Top10



③ 2021年症例 部位別発見経緯の割合



④ 2021年症例 二次保健医療圏別登録割合



2. 院内がん登録予後調査支援事業【2010年症例(10年予後)・2015年症例(5年予後)】

- 生存状況が不明な登録症例データの提出 = 359件

3. 院内がん登録予後情報付集計データの提出【2009年症例(10年予後)・2014年症例(5年予後)】

- 生存状況把握割合(国立がん研究センター公表)

対象症例年	対象症例数	死亡数	打ち切り数	把握割合
2009年症例(10年予後)	802件	463件	84件	89.5%
2014年症例(5年予後)	872件	361件	(7-9)件	99.0%

※集計値が10件以下の場合は、1~3件、4~6件、7~9件として公表

4. 院内がん登録とDPCを使ったQI(標準診療の質を評価するための指標(Quality Indicator))研究

- 2019年院内がん登録対応表ファイル(個人識別情報)とDPC調査の2018年10月~2021年3月分の外来・入院のEF統合ファイル(診療報酬算定情報)及び様式1ファイル(入退院情報、病名情報等)を使用して提出用ファイルを作成し提出
- 2018年症例の、標準的な治療の実施が行われていない症例について二次解析を行い提出

5. 岡山県がん診療連携協議会がん登録部会の主催、議事録の作成

- 2021年3月9日開催